

診療ガイドラインのためのGRADEシステム

# 第2弾 診断検査へのGRADE Free!

GRADE: Grading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation

GRADEシステムを日本語で紹介している唯一のサイト!

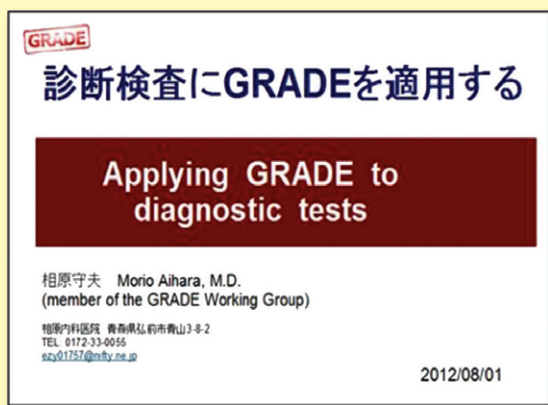


<http://www.grade-jpn.com>

「診療ガイドラインのためのGRADEシステムー治療介入」(相原他、凸版メディア)につづき、GRADEシステムを使った診断検査のエビデンスの質の評価および診断検査・戦略に関するGRADEガイドラインの作成のための資料を作成しました

## “診断検査にGRADEを適用する”(PPT)

[http://www.grade-jpn.com/applying\\_grade\\_to\\_diagnosticTests.ppt](http://www.grade-jpn.com/applying_grade_to_diagnosticTests.ppt)



診断検査に関する研究にGRADEシステムを適用する際のポイントを解説したスライド集 (2012年8月:相原 作成)



[http://homepage3.nifty.com/cont/40\\_1/p199-212.pdf](http://homepage3.nifty.com/cont/40_1/p199-212.pdf)

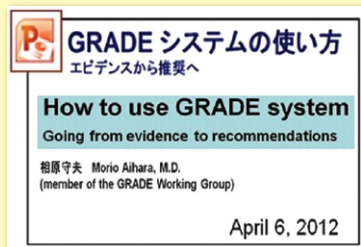
### GRADEの適用: 診療ガイドラインにおける診断検査に関して根拠に基づく推奨を作成する

本稿は、Hsu et al.: Application of GRADE: Making evidence-based recommendations about diagnostic tests in clinical practice guidelines. Implementation Science 2011, 6:62 (doi:10.1186/1748-5908-6-62) の日本語訳 (相原 訳)

## GRADEシステムを理解するための追加資料

- GRADEシステムの使い方

[http://www.grade-jpn.com/how\\_to\\_use\\_grade\\_aihara\\_20120426.ppt](http://www.grade-jpn.com/how_to_use_grade_aihara_20120426.ppt)



GRADEシステムとはなにか、システムティック・レビューや診療ガイドラインにおいてどのように使うのかを解説したスライド集です (2012年4月:相原 作成)

- GRADEガイドライン作成の流れ

コクランレビュー作成におけるGRADEシステム(アプローチ)の利用: GRADEシステムを利用した診療ガイドライン作成チェックリスト: 治療介入編 Ver.2.0 2012.7.17.

1	ガイドラインのゴール設定、プロセス確立
2	患者・臨床家の疑問(CO)設定
3	疑問の定式化
4	アウトカム選択
5	アウトカムの相対的重要性の判定
6	優先順位・優先基準など
7	優先的に検索する
8	優先基準(選択基準、除外基準)で論文を選ぶ
9	アウトカムごとにデータを収集する
10	研究の質を評価する
11	研究の質を評価する
12	研究の質を評価する
13	研究の質を評価する
14	研究の質を評価する

[http://www.grade-jpn.com/grade\\_gl\\_flow\\_20120717\\_2.pdf](http://www.grade-jpn.com/grade_gl_flow_20120717_2.pdf)

システムティック・レビューやGRADEを利用した診療ガイドライン作成のチェックリスト (2012年6月:GRADE-Jpn MLメンバー作成)

[http://www.grade-jpn.com/grade\\_gl\\_flow\\_aihara.pdf](http://www.grade-jpn.com/grade_gl_flow_aihara.pdf)

「GRADEガイドライン作成の流れ」をわかりやすく解説したものです (2012年7月:相原 作成)